
町内会実態調査
町内会についての市民意識調査
報告書（概要版）

令和5年1月
鹿児島市

目 次

町内会実態調査.....	1
1 町内会長について	1
2 組織・運営について	2
3 活動について	5
4 広報活動について	8
5 集会所について	8
町内会についての市民意識調査.....	9
1 地域への関心について	9
2 町内会への加入状況について	10
3 町内会活動について	12
両調査の比較.....	13
1 町内会の役員について	13
2 役員の負担軽減について	14
3 加入促進について	16
4 町内会活動について	17

○調査の概要

調査期間	①町内会実態調査 令和4年7月6日（水）～10月28日（金） ②町内会についての市民意識調査 令和4年7月6日（水）～9月20日（火）
調査対象	①町内会実態調査 鹿児島市内の町内会 776 団体（うち休止中7団体） ②町内会についての市民意識調査 鹿児島市に居住する満 18 歳以上の男女計 3,000 人を無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収及びインターネット上での回収
回収結果	①町内会実態調査：699 件（90.1%） ②町内会についての市民意識調査：1,362 件（45.4%）

○集計上の留意点

- (1) グラフ中の「N=」は、母数となるサンプル数（回答対象者数）を示している。
- (2) 集計結果は百分率で算出し、小数点第2位を四捨五入している関係上、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の場合は、回答者実数より多くなっている場合がある。

○その他の調査結果

より詳しい調査結果を掲載した「本編」については下記リンク先で公開しています。必要に応じてご活用ください。

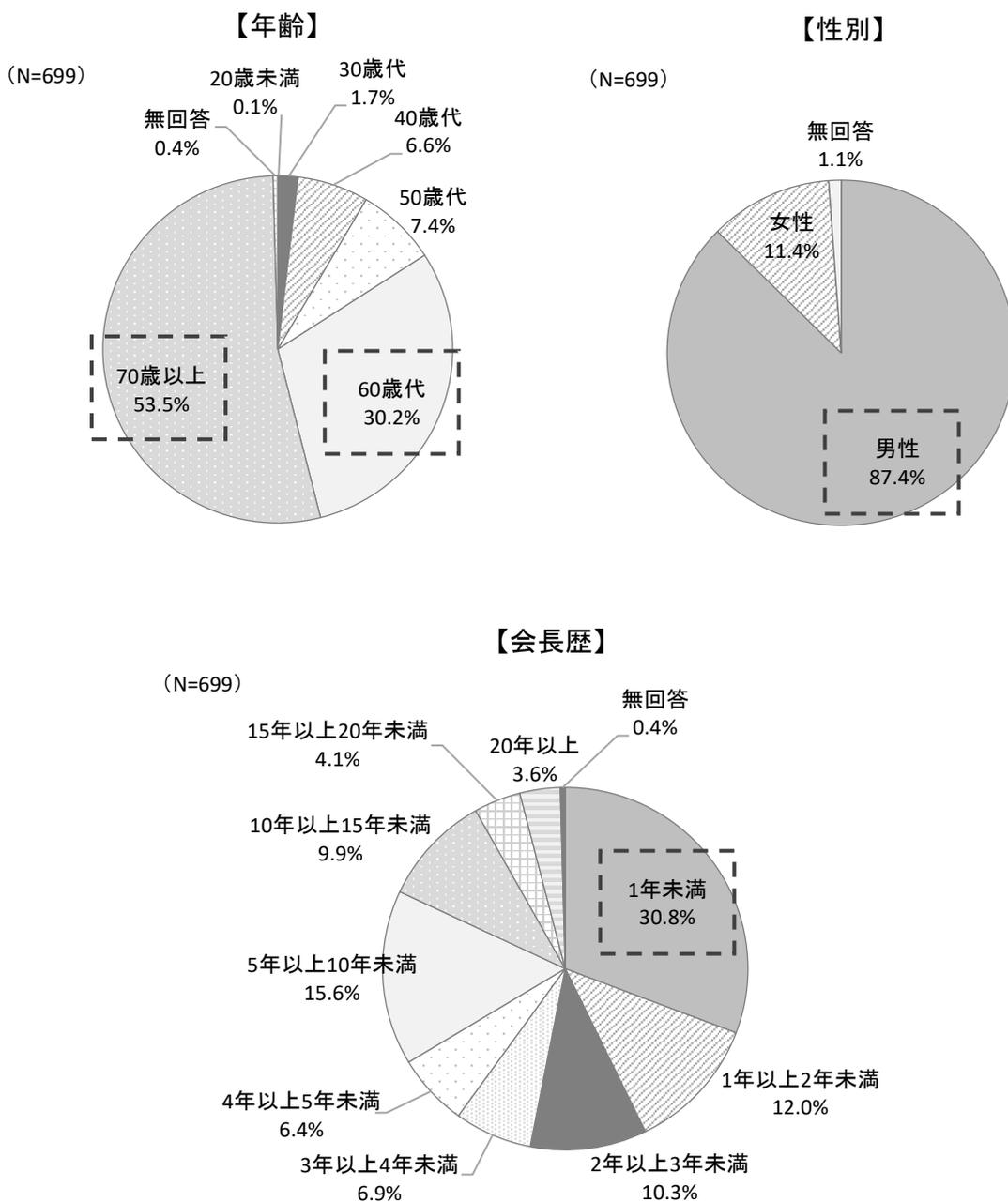
QR コード



町内会実態調査

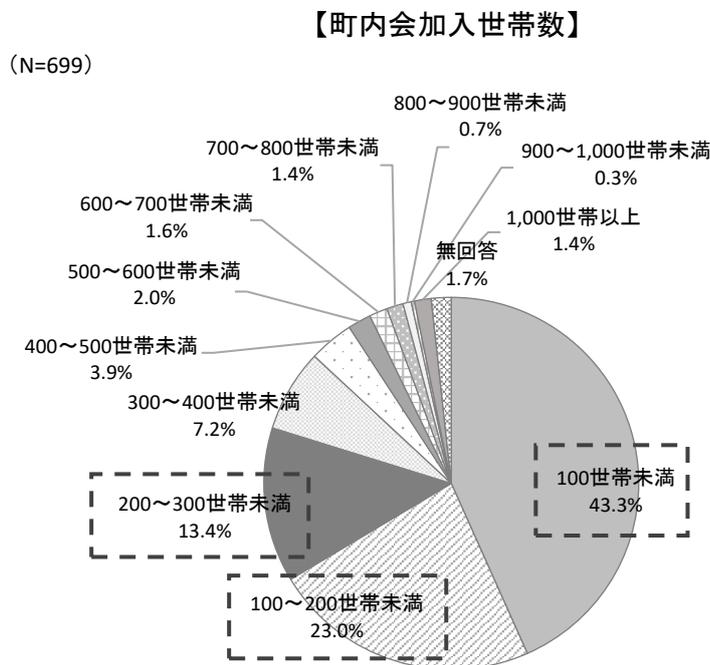
1 町内会長について

○町内会長については、「60歳以上」が約8割と、「男性」が約9割を占めている。会長歴は「1年未満」が約3割と最も高くなっている。

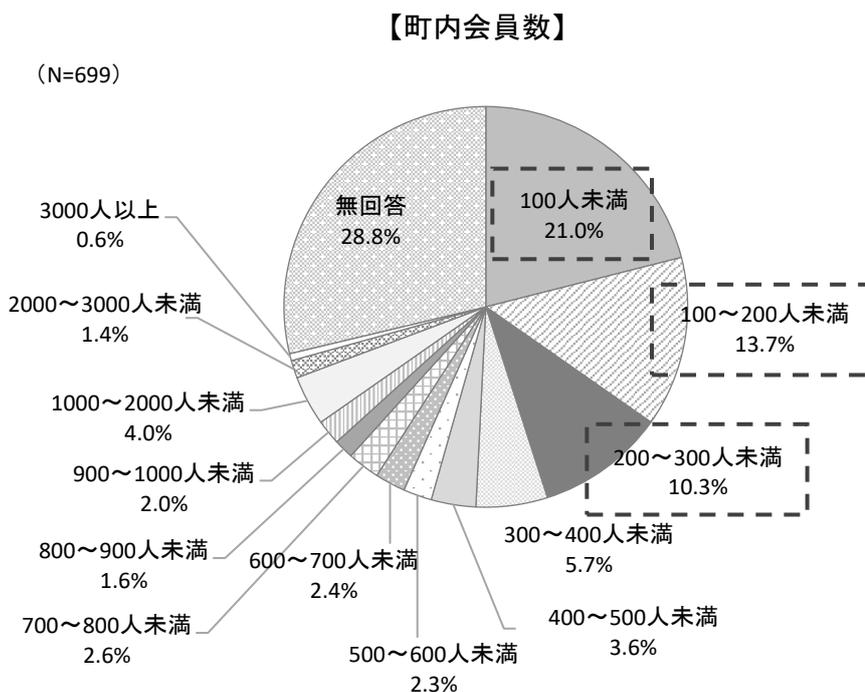


2 組織・運営について

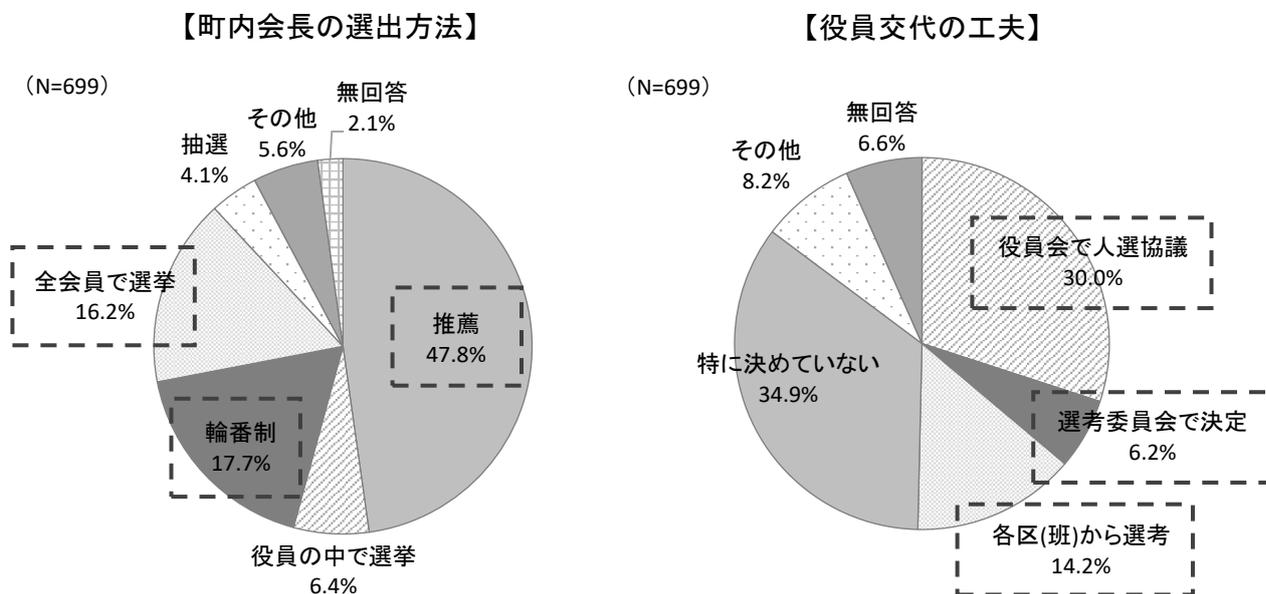
○町内会の加入世帯数は、「100世帯未満」が約4割と最も高く、次いで「100～200世帯未満」、「200～300世帯未満」の順となっており、300世帯未満が約8割を占めている。



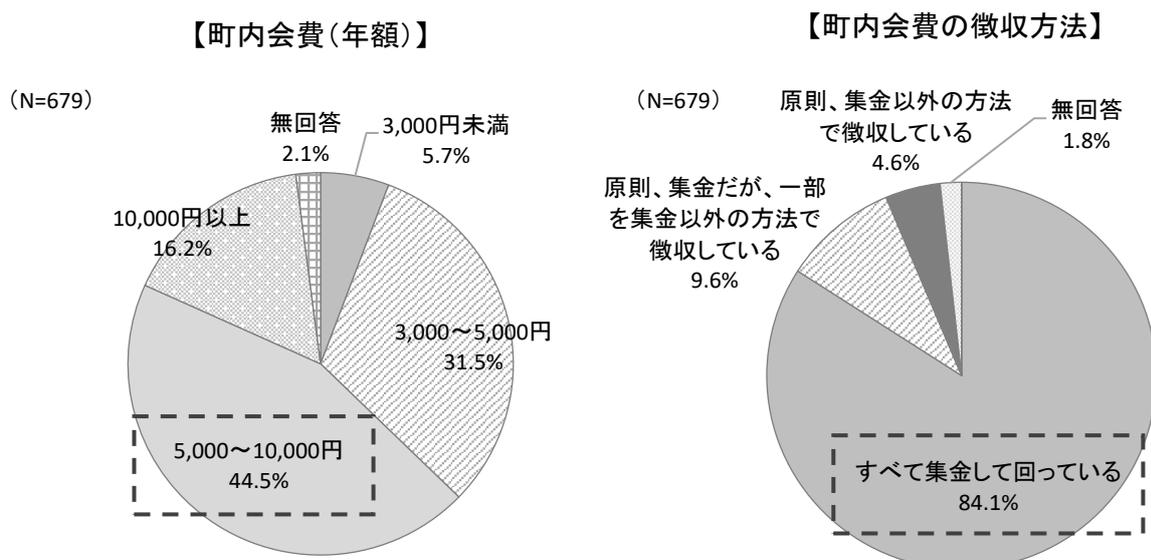
○町内会員数は、「100人未満」が約2割と最も高く、次いで「100～200人未満」、「200～300人未満」の順となっており、300人未満が約5割を占めているが、「無回答」が約3割となっており、把握していない団体も多いと考えられる。



○町内会長の選出方法については、「推薦」が約半数を占めており、次いで「輪番制」、「全会員で選挙」の順となっている。会長や役員交代が円滑に行われるための工夫については、「役員会で人選協議」が約3割と最も高く、次いで「各区（班）から選考」、「選考委員会で決定」の順となっている。

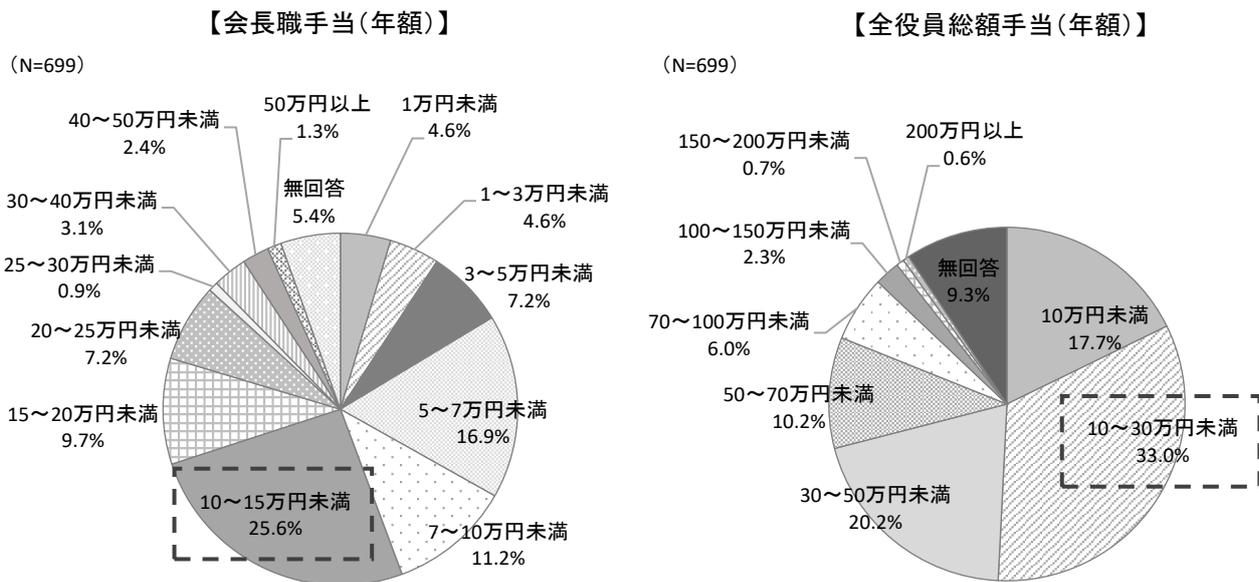


○町内会費（年額）は、「5,000円以上10,000円未満」の割合が最も高く、徴収方法は「すべて集金して回っている」が約8割を占めている。集金以外の町内会費の徴収方法については、「銀行振込」、「銀行引落とし」の割合が高い一方、「クレジットカード決済」、「電子マネー」を活用している団体はなかった。

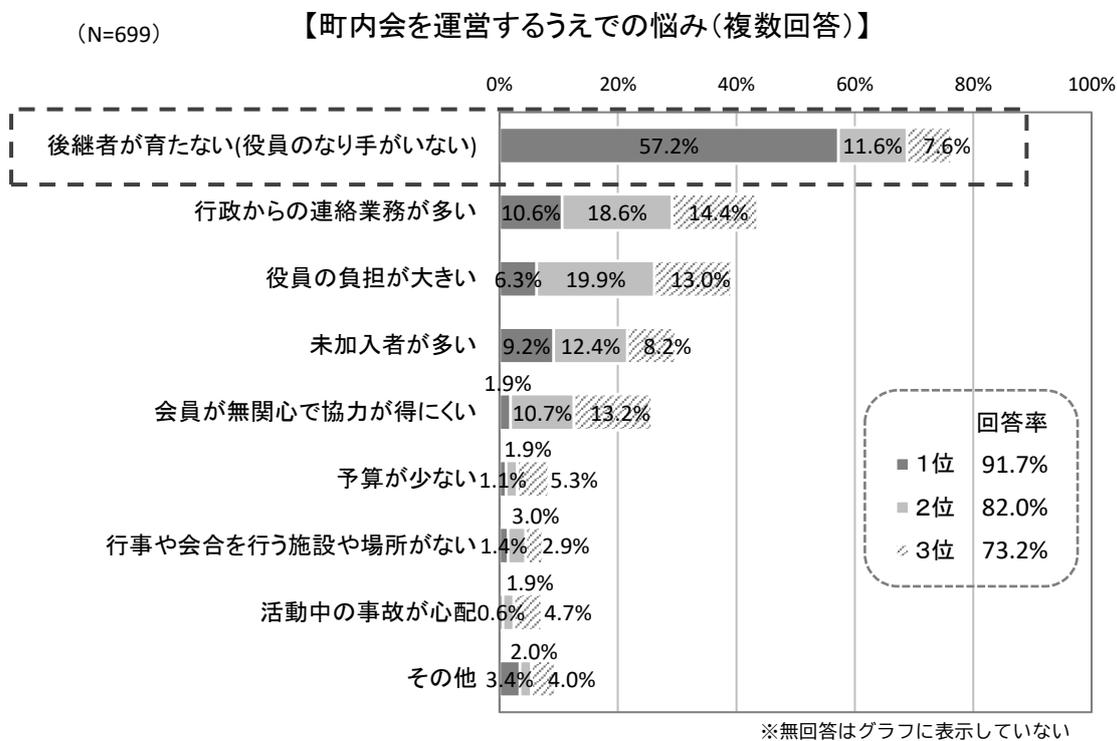


※集金以外の徴収方法のグラフについては省略

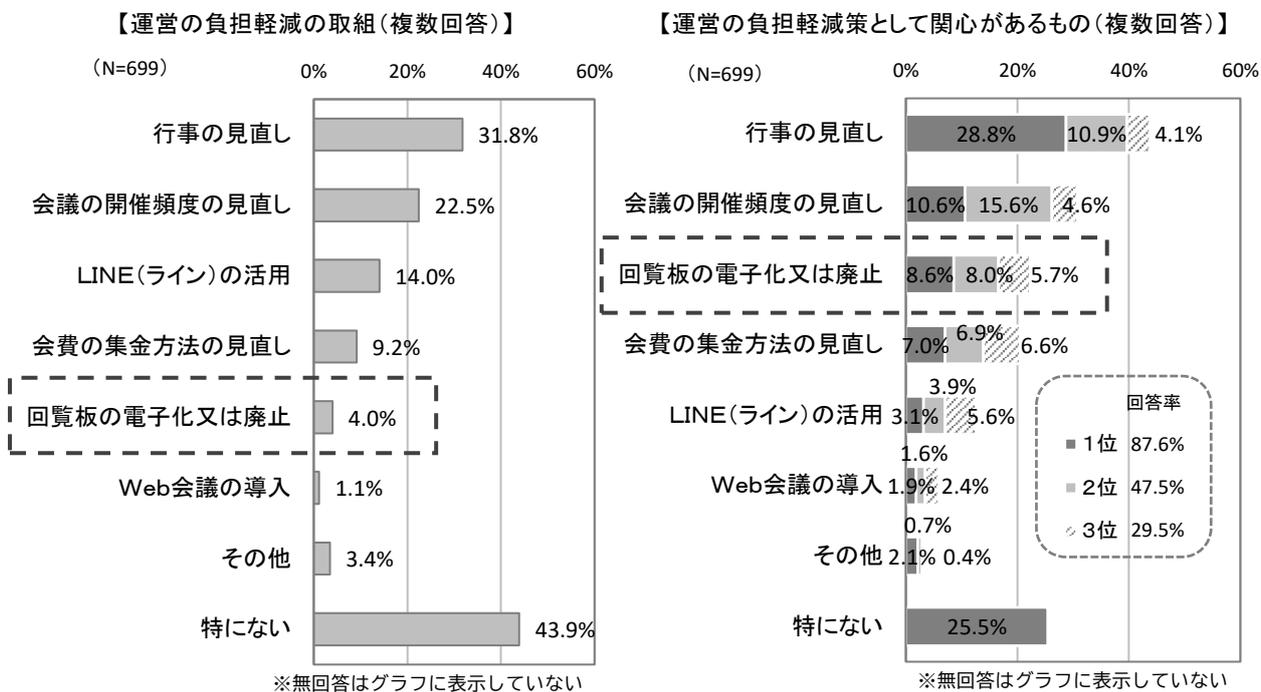
○会長職の手当（年額）は「10～15万円未満」、全役員総額（会長職含む・年額）は「10～30万円未満」が最も多くなっている。



○町内会を運営するうえでの悩みについては「後継者が育たない(役員のなり手がいない)」の割合が最も高くなっている。

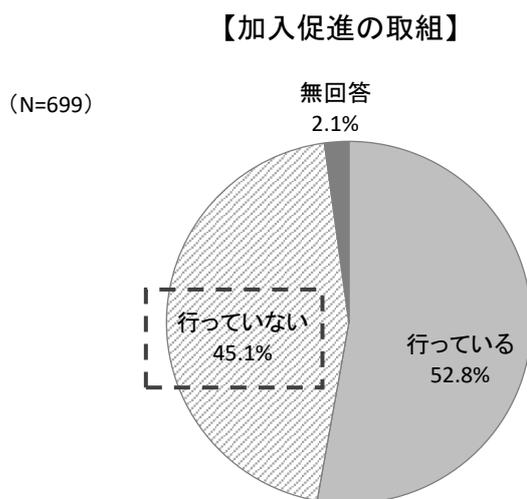


○運営の負担軽減のために既に行っている取組については、「行事の見直し」、「会議の開催頻度の見直し」の割合が高く、関心も高くなっている。「回覧板の電子化又は廃止」の割合については、実際の取組では低い一方、負担軽減策としての関心は高くなっている。



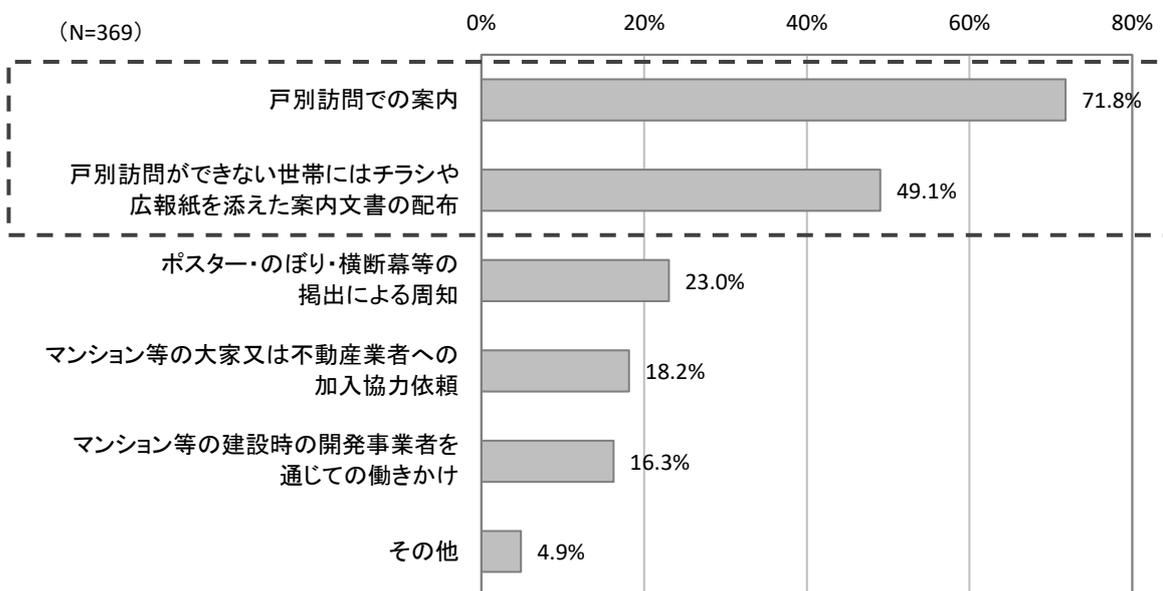
3 活動について

○町内会の加入促進の取組について、「行っていない」が45.1%と、前回調査(平成29年度実施)結果より6.9ポイント増加している。



○加入促進の方法については、「戸別訪問での案内」の割合が約7割、「戸別訪問ができない世帯にはチラシや広報紙を添えた案内文書の配布」が約半数と高くなっている。

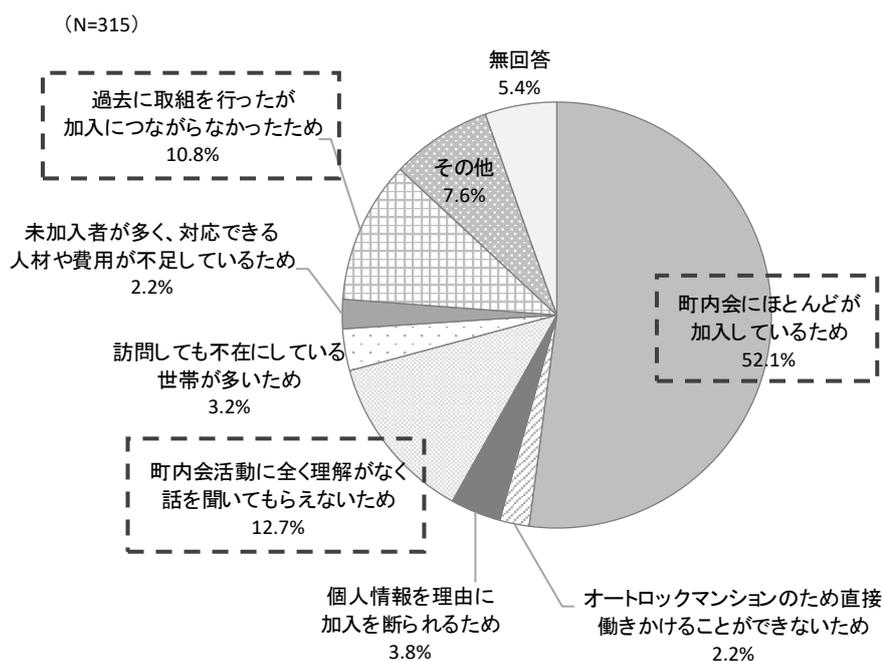
【加入促進の方法(複数回答)】



※無回答はグラフに表示していない

○加入促進の取組を行っていない理由については、「町内会にほとんどが加入しているため」の割合が約半数を占めているほか、「町内会活動に全く理解がなく話を聞いてもらえないため」、「過去に取組を行ったが加入につながらなかったため」の割合が高くなっている。

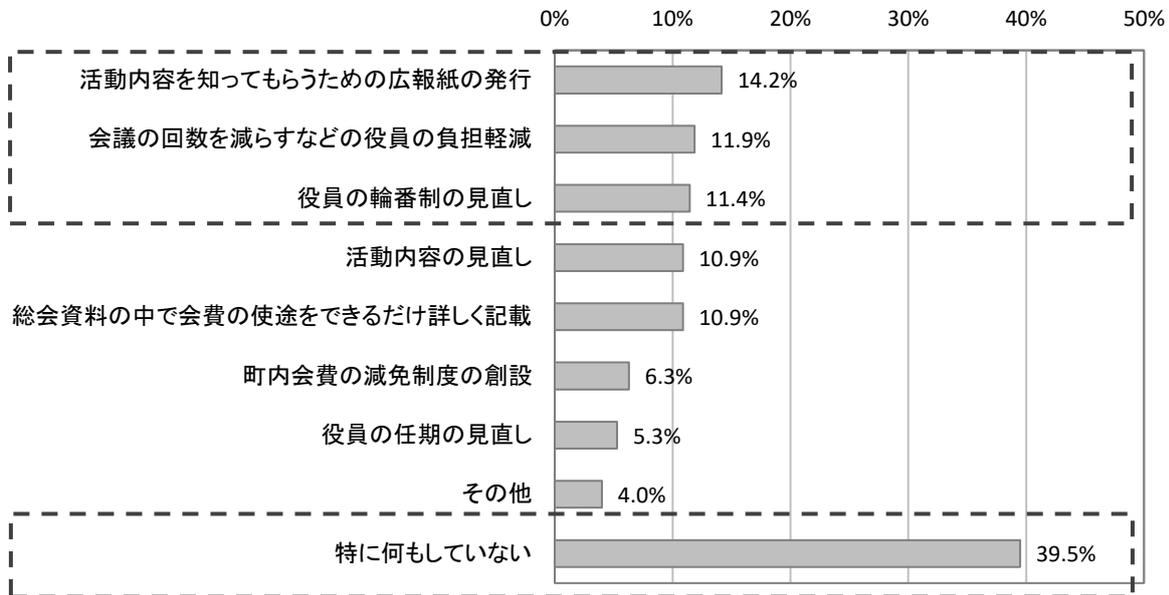
【加入促進の取組を行っていない理由】



○町内会退会者への対策については、「活動内容を知ってもらうための広報紙の発行」、「会議の回数を減らすなどの役員の負担軽減」、「役員の輪番制の見直し」の割合が上位となっているが、いずれも約1割程度で、「特に何もしていない」が約4割を占めている。

(N=699)

【町内会退会者への対策(複数回答)】



※無回答はグラフに表示していない

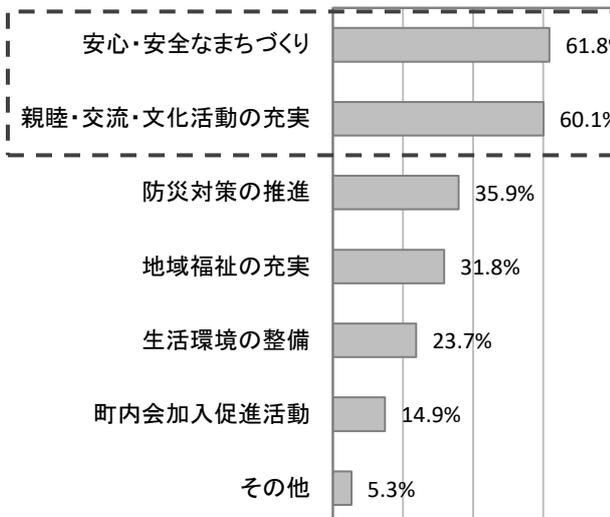
○地域コミュニティ協議会との連携については、「安心・安全なまちづくり」、「親睦・交流・文化活動の充実」に約6割が取り組んでおり、今後も取り組みたいとしている町内会が多くなっている。

【地域コミュニティ協議会と取り組んでいること(複数回答)】

【地域コミュニティ協議会と取り組みたいこと(複数回答)】

(N=699)

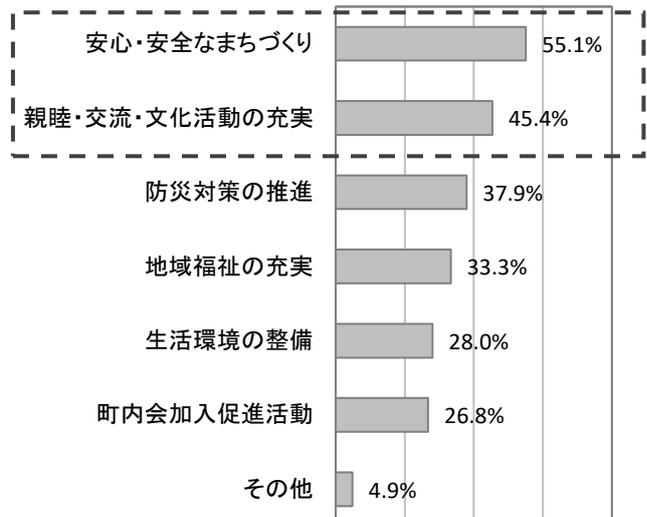
0% 20% 40% 60% 80%



※無回答はグラフに表示していない

(N=699)

0% 20% 40% 60% 80%

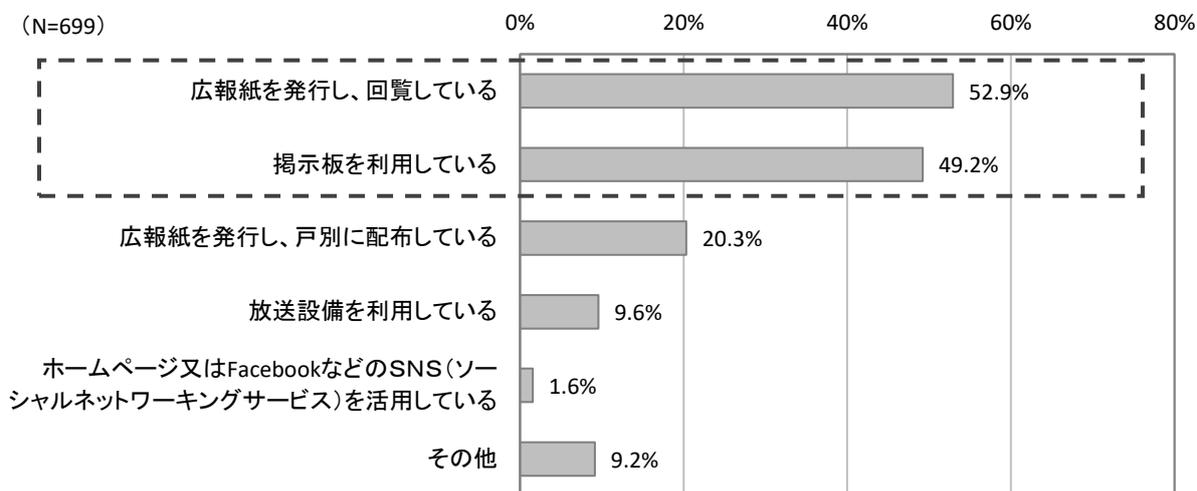


※無回答はグラフに表示していない

4 広報活動について

○会員への広報については、「広報紙を発行し、回覧している」、「掲示板を利用している」の割合が高くなっている。

【会員への広報手段(複数回答)】

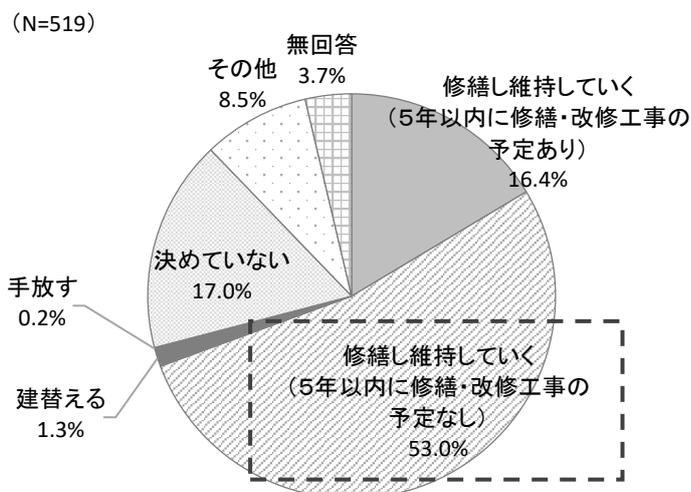


※無回答はグラフに表示していない

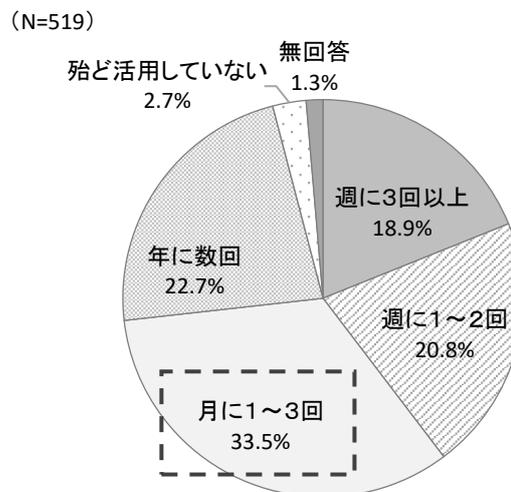
5 集会所について

○集会所の有無について、「集会所がある(他の町内会との共有も含む)」が74.2%を占めており、その維持管理方針については、「修繕し維持していく」の割合が高くなっている。集会所の活用頻度は、「月に1~3回」が約3割を占めている。地域別でみると、中央地域、吉野地域では「週に3回以上」が最も高く、活動頻度が高い傾向がみられる。

【集会所の維持管理方針】



【集会所の活用頻度】



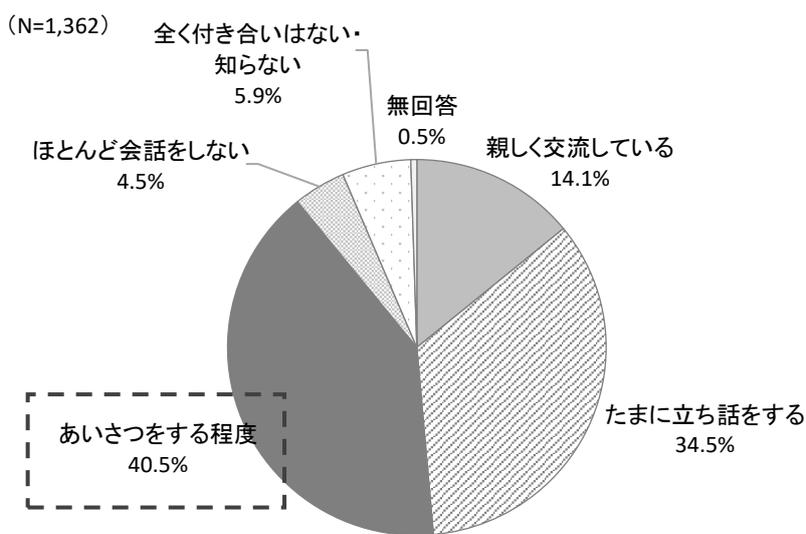
※地域別のグラフについては省略

町内会についての市民意識調査

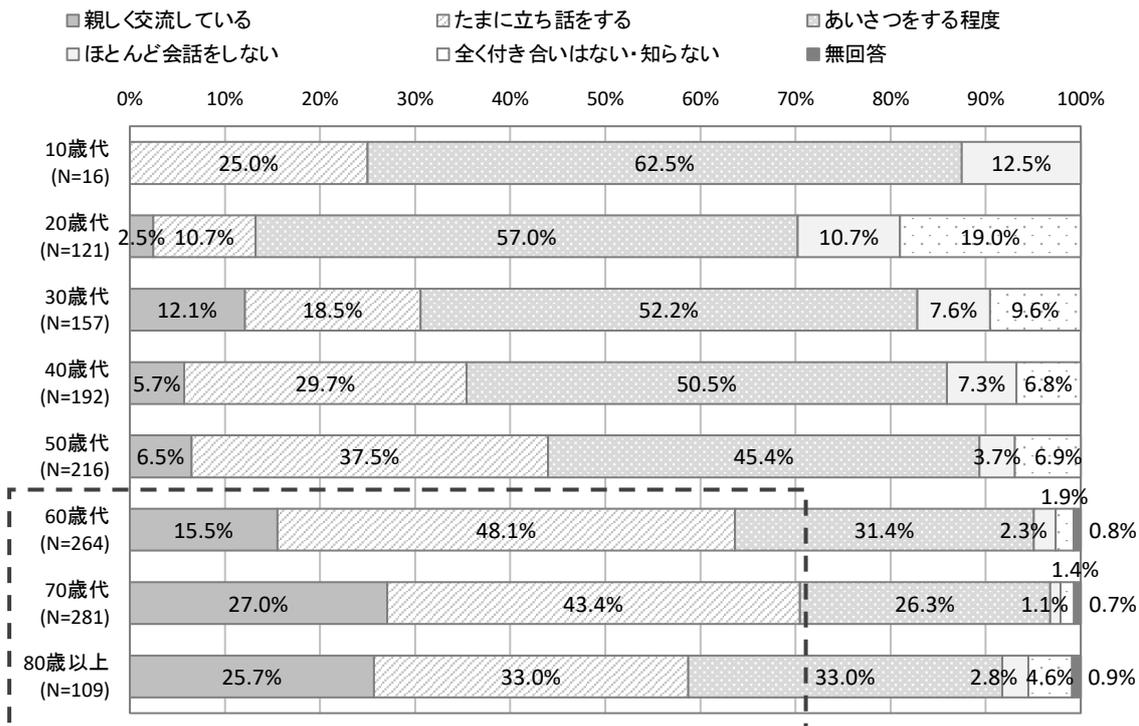
1 地域への関心について

○近隣住民との付き合いについては、「あいさつをする程度」が約4割と最も高くなっている。年代別にみると、60歳代以上では「親しく交流している」、「たまに立ち話をする」があわせて約6～7割を占めている。

【近隣住民との付き合い】



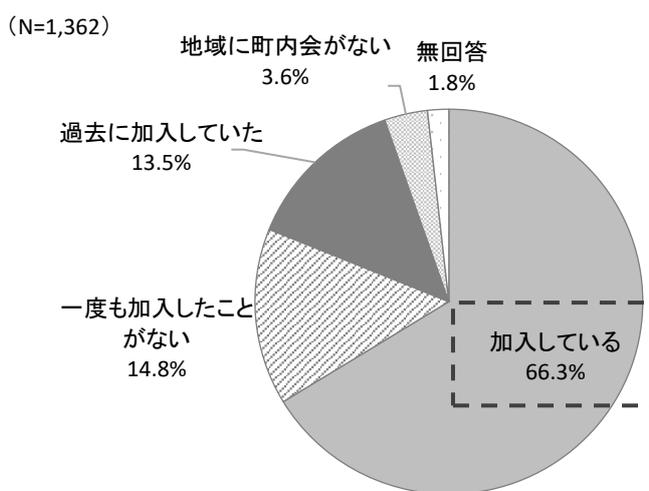
【年代別における近隣住民との付き合い】



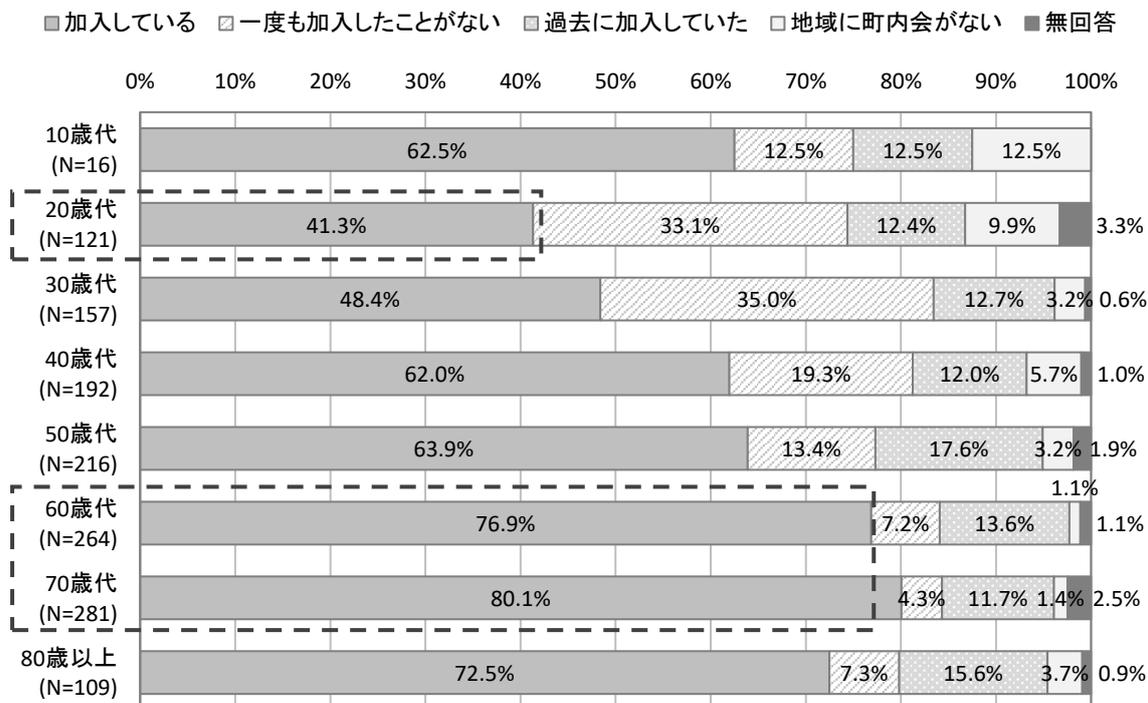
2 町内会への加入状況について

○町内会に「加入している」と回答した人の割合は 66.3%と、前回調査（平成 29 年度実施）と比較すると 3.7 ポイント減少している。年代別にみると、60 歳代、70 歳代では「加入している」が約 8 割と高い一方、20 歳代では約 4 割と低く、20 歳代以降年代が上がるにつれて「加入している」の割合が高くなっていく傾向がみられる。また住居形態別にみると、賃貸アパート・マンション等では「加入している」の割合が低く、「一度も加入したことがない」が約 4 割を占めている。

【町内会加入状況】



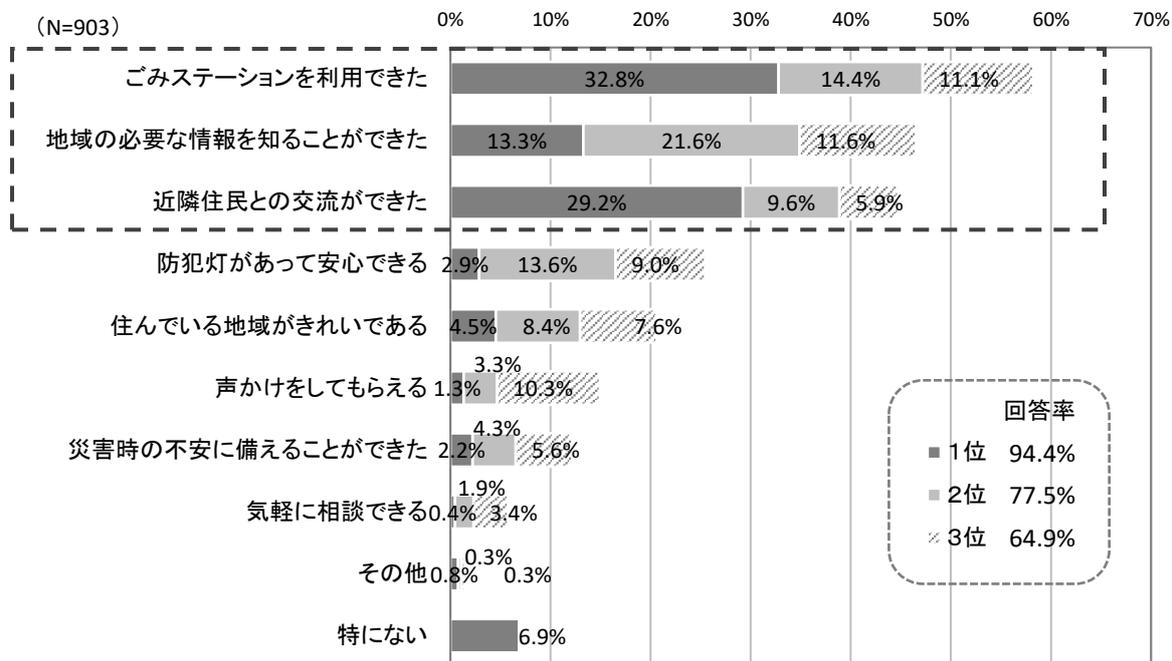
【年代別 町内会加入状況】



※住居形態別のグラフについては省略

○町内会に「加入している」と回答した人のうち、加入してよかったことについては、「ごみステーションを利用できた」、「地域の必要な情報を知ることができた」、「近隣住民との交流ができた」の割合が高くなっている。

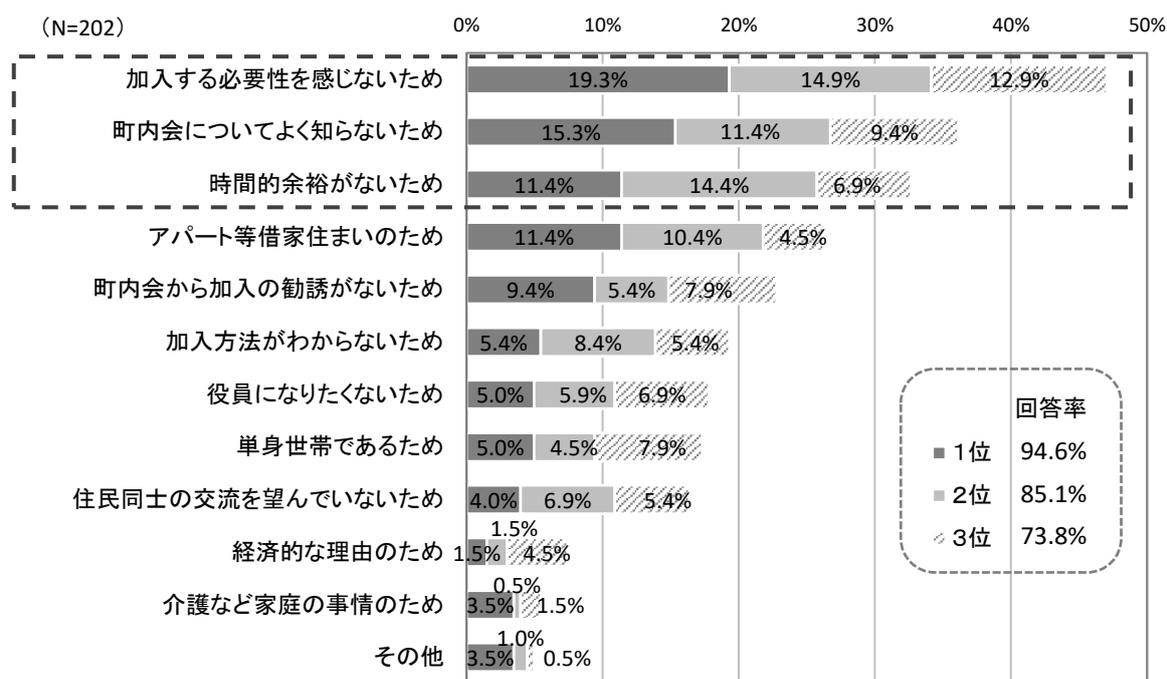
【町内会に加入してよかったこと(複数回答)】



※無回答はグラフに表示していない

○町内会に「一度も加入したことがない」と回答した人は、「加入する必要性を感じないため」、「町内会についてよく知らないため」、「時間的余裕がないため」といった理由をあげている。

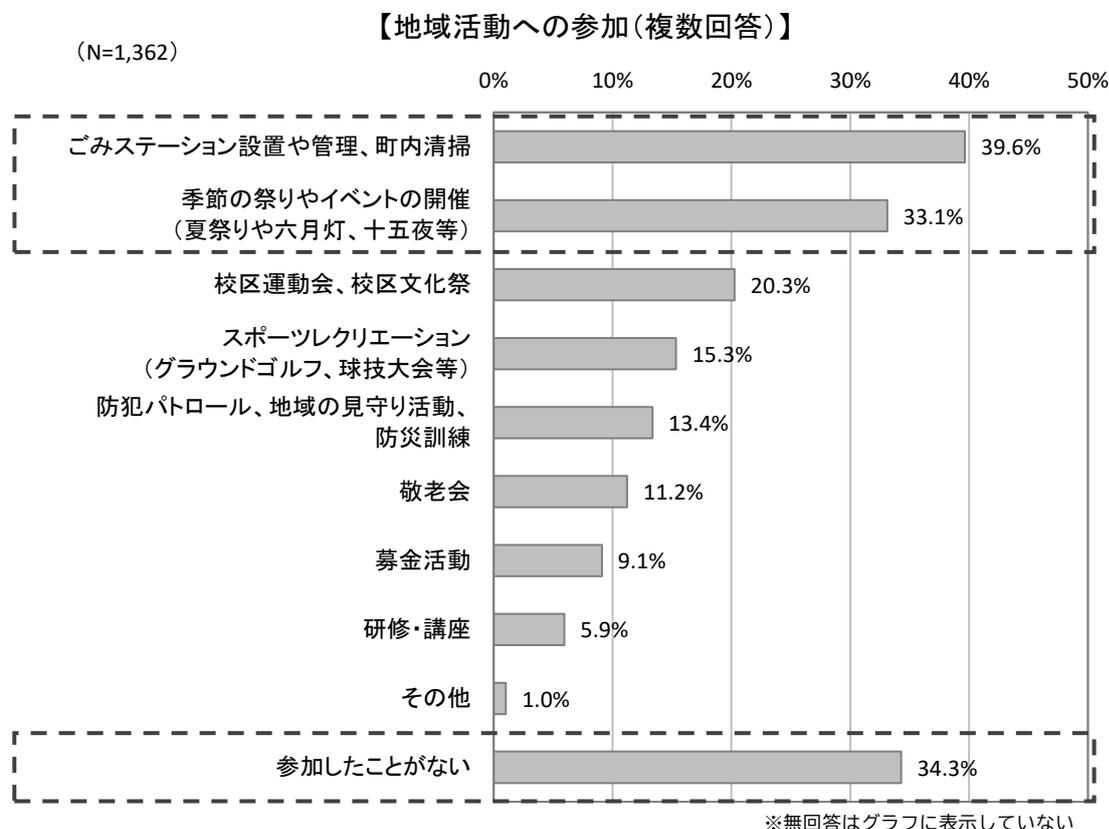
【町内会に加入したことがない理由(複数回答)】



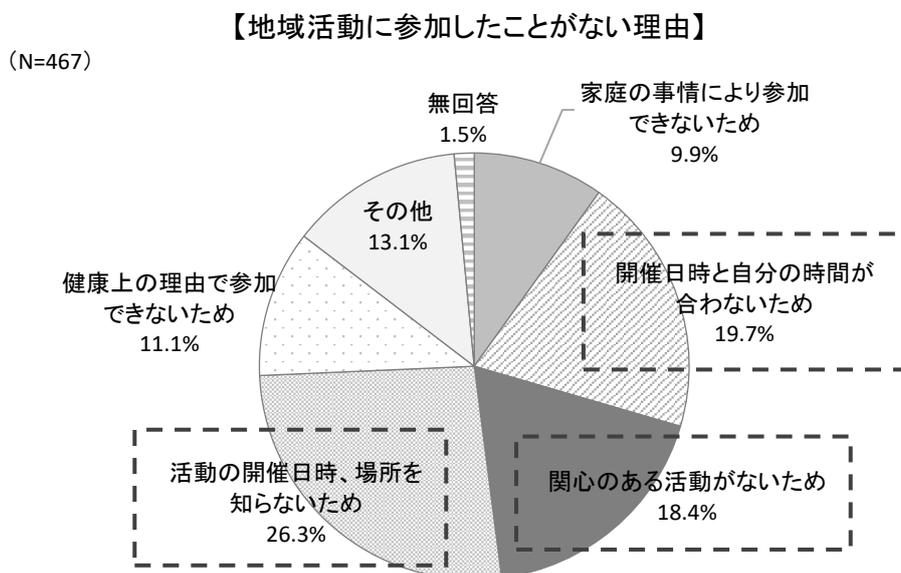
※無回答はグラフに表示していない

3 町内会活動について

○参加したことがある町内会の地域活動については、「ごみステーション設置や管理、町内清掃」、「季節の祭りやイベントの開催（夏祭りや六月灯、十五夜等）」、「校区運動会、校区文化祭」の割合が上位となっているが、「参加したことがない」が約3割を占めている。



○地域活動に「参加したことがない」と回答した人は、「活動の開催日時、場所を知らないため」、「開催日時と自分の時間が合わないため」、「関心のある活動がないため」といった理由をあげている。



両調査の比較

1 町内会の役員について

(町内会実態調査より)

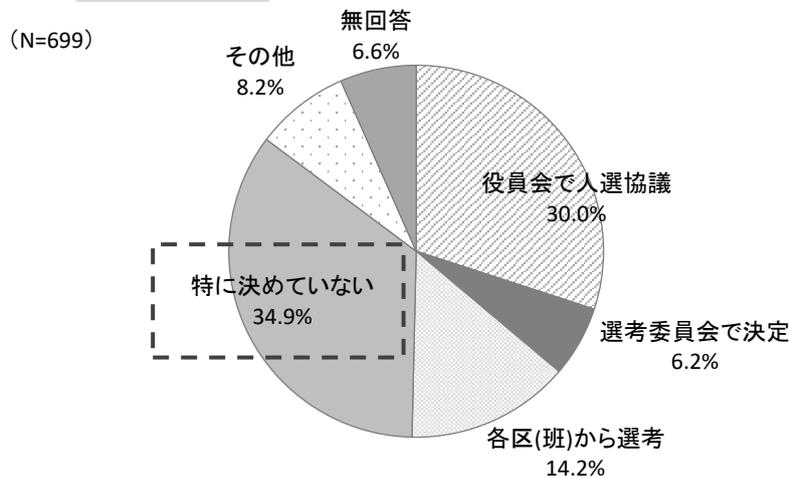
問8 会長や役員の交代が円滑に行われるために、どのような工夫をしていますか。

(町内会についての市民意識調査より)

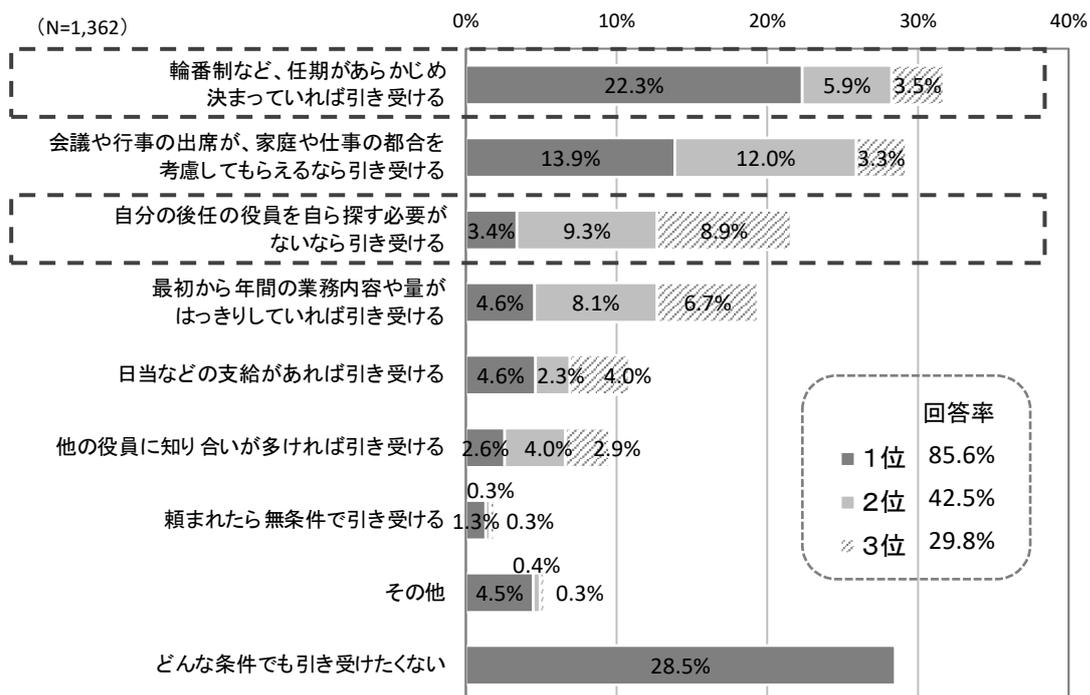
問29 あなたは、町内会の役員を頼まれた場合、どんな条件であれば引き受けますか。
該当するものを最大3つまで選んでください。

役員を引き受ける条件として、「輪番制など、任期があらかじめ決まっていれば引き受ける」や「自分の後任の役員を自ら探す必要がないなら引き受ける」と回答した市民の割合が高い一方で、会長や役員の交代が円滑に行われるための工夫について、「特に決めていない」と回答した町内会の割合が高くなっている。

(町内会実態調査) 役員交代の工夫



(町内会についての市民意識調査) 役員を引き受ける条件



※無回答はグラフに表示していない

2 役員の負担軽減について

(町内会実態調査より)

問 11 町内会費はどのように徴収していますか。

問 21 運営の負担軽減の方法として、既に取り組んでいるものをすべて選んでください。

問 22 運営の負担軽減策として、関心があるものを最大3つまで選んでください。

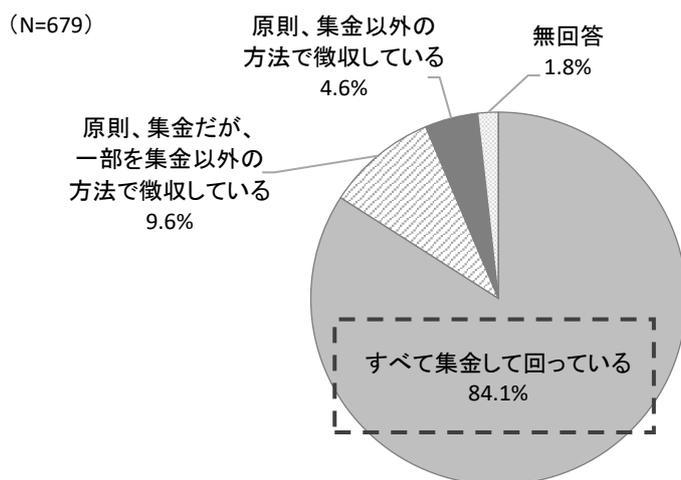
(町内会についての市民意識調査より)

問 28 役職の業務で負担に感じたものをすべて教えてください。

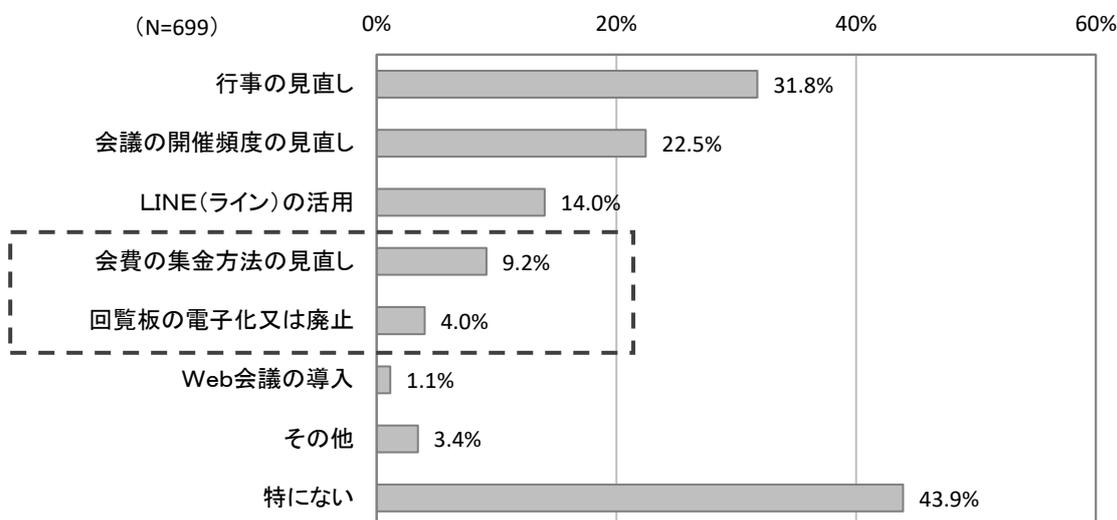
8割を超える町内会において町内会費を「すべて集金して回っている」と回答しており、役職の業務で負担に感じたものについても、「町内会費(募金)の集金」と回答した市民の割合が最も高い一方で、「会費の集金方法の見直し」に取り組む町内会の割合は低くなっている。

また、「回覧板の運営」についても、負担に感じる市民の割合が高く、町内会においても「回覧板の電子化又は廃止」についての関心は高いものの、負担軽減策として取り組む町内会の割合は低くなっている。

(町内会実態調査) 町内会費の徴収方法

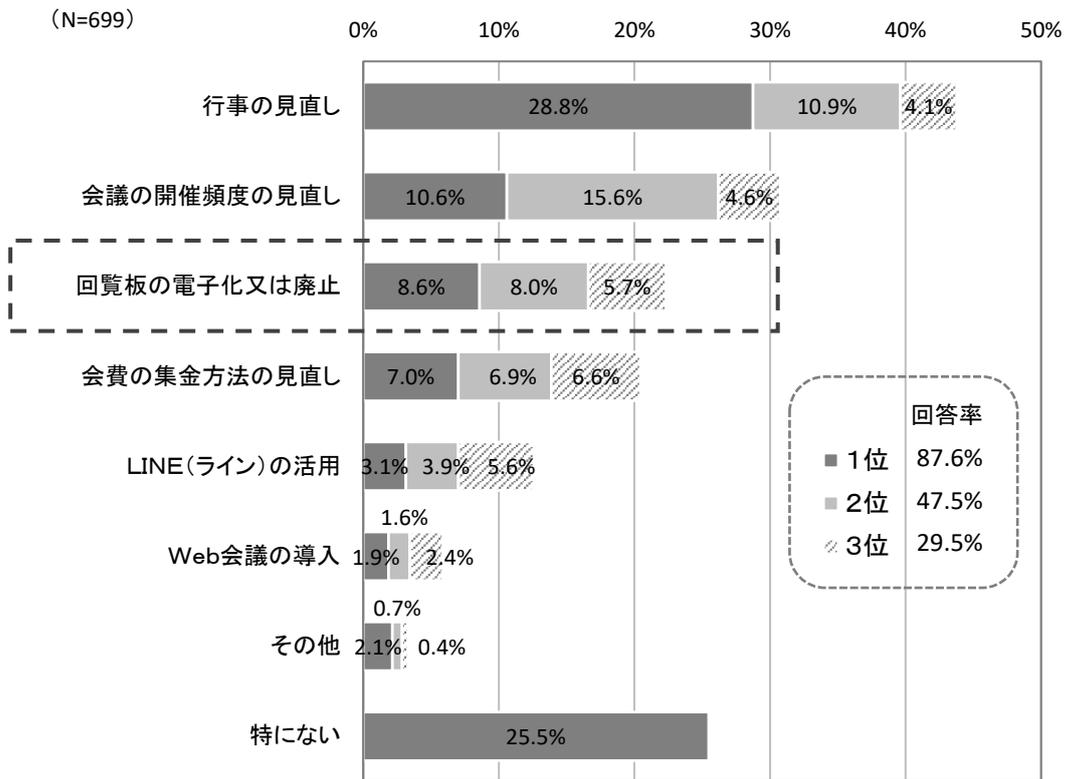


(町内会実態調査) 既に取り組んでいる負担軽減策



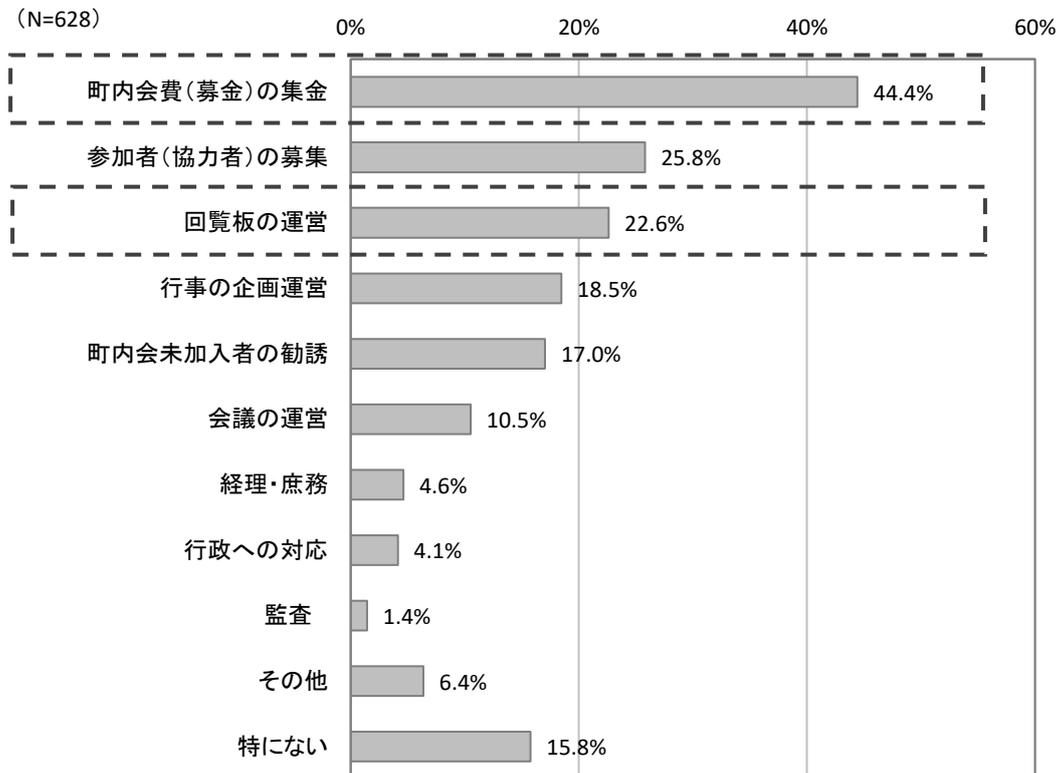
※無回答はグラフに表示していない

(町内会実態調査) 関心がある負担軽減策



※無回答はグラフに表示していない

(町内会についての市民意識調査) 負担に感じた役員の業務



※無回答はグラフに表示していない

3 加入促進について

(町内会実態調査より)

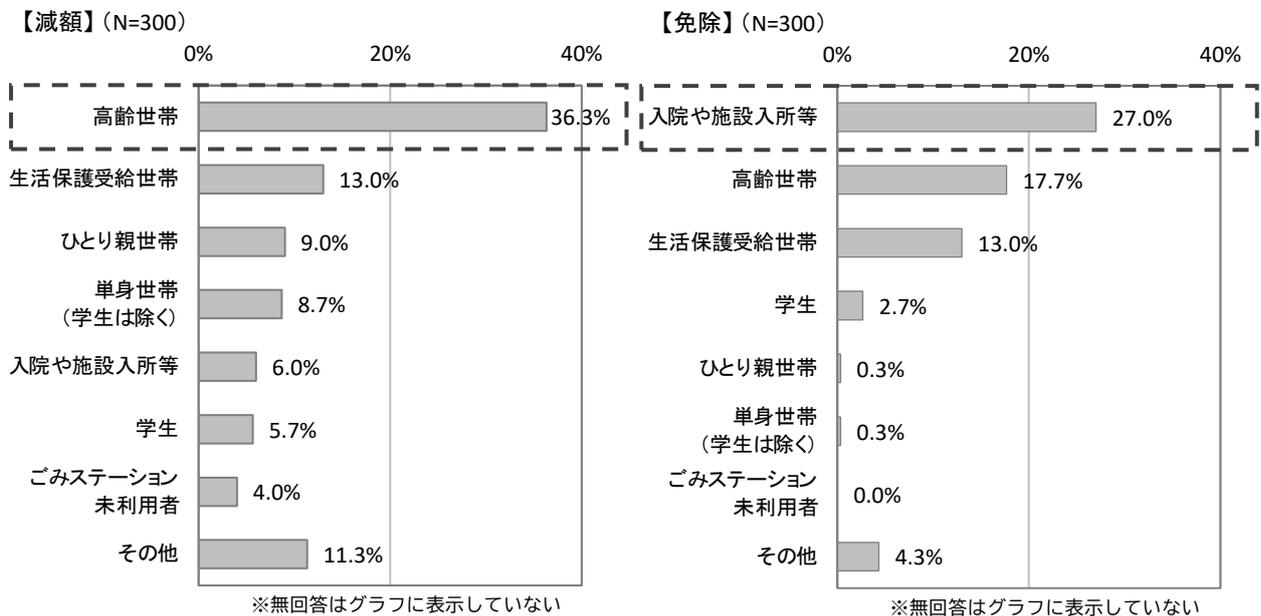
問 14 町内会費の減額又は免除制度について、該当する世帯に○をしてください。

(町内会についての市民意識調査より)

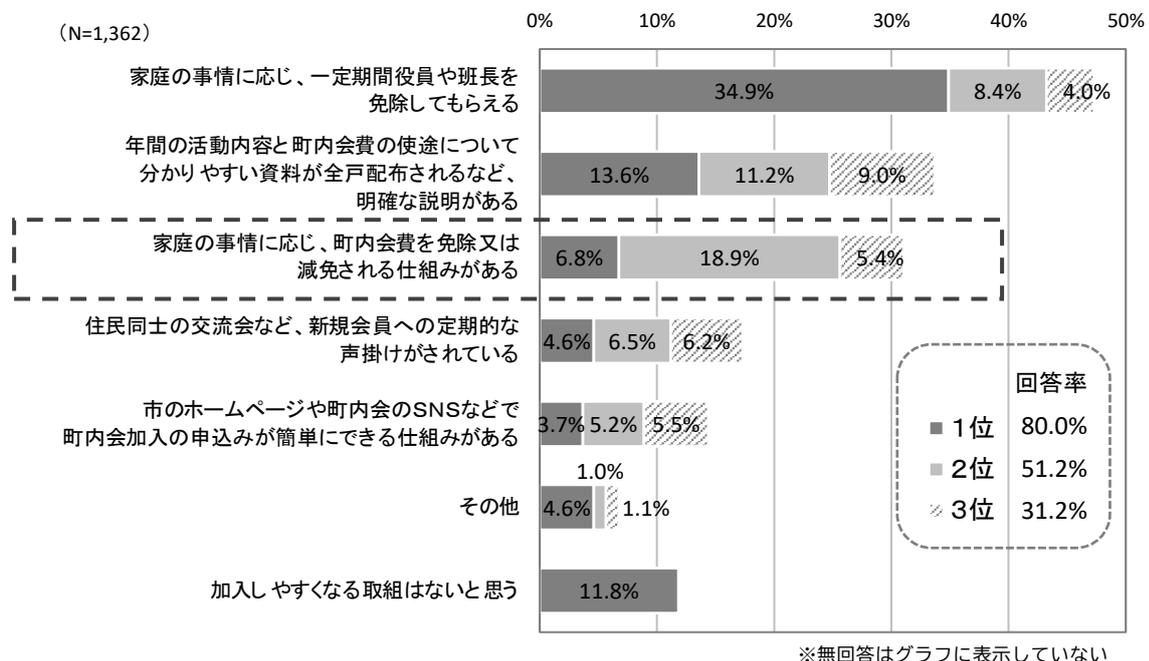
問 20 どのような取組があれば、あなたは町内会に加入しやすくなると思いますか。
該当するものを最大3つまで選んでください。

町内会に加入しやすくなる取組については、「家庭の事情に応じ、町内会費を免除又は減免される仕組みがある」と回答した市民の割合が比較的高く、減額又は免除を行っている町内会のうち、その対象では、「高齢世帯」や「入院や施設入所等」などの割合が高くなっている。

(町内会実態調査) 町内会費の減額又は免除に該当する世帯



(町内会についての市民意識調査) 加入しやすくなる取組



4 町内会活動について

(町内会実態調査より)

問 27 あなたの町内会で、特に積極的に取り組んでいるものを最大3つまで選んでください。

(町内会についての市民意識調査より)

問 23 町内会などの地域活動において、特に必要だと思うものと最大3つまで選んでください。

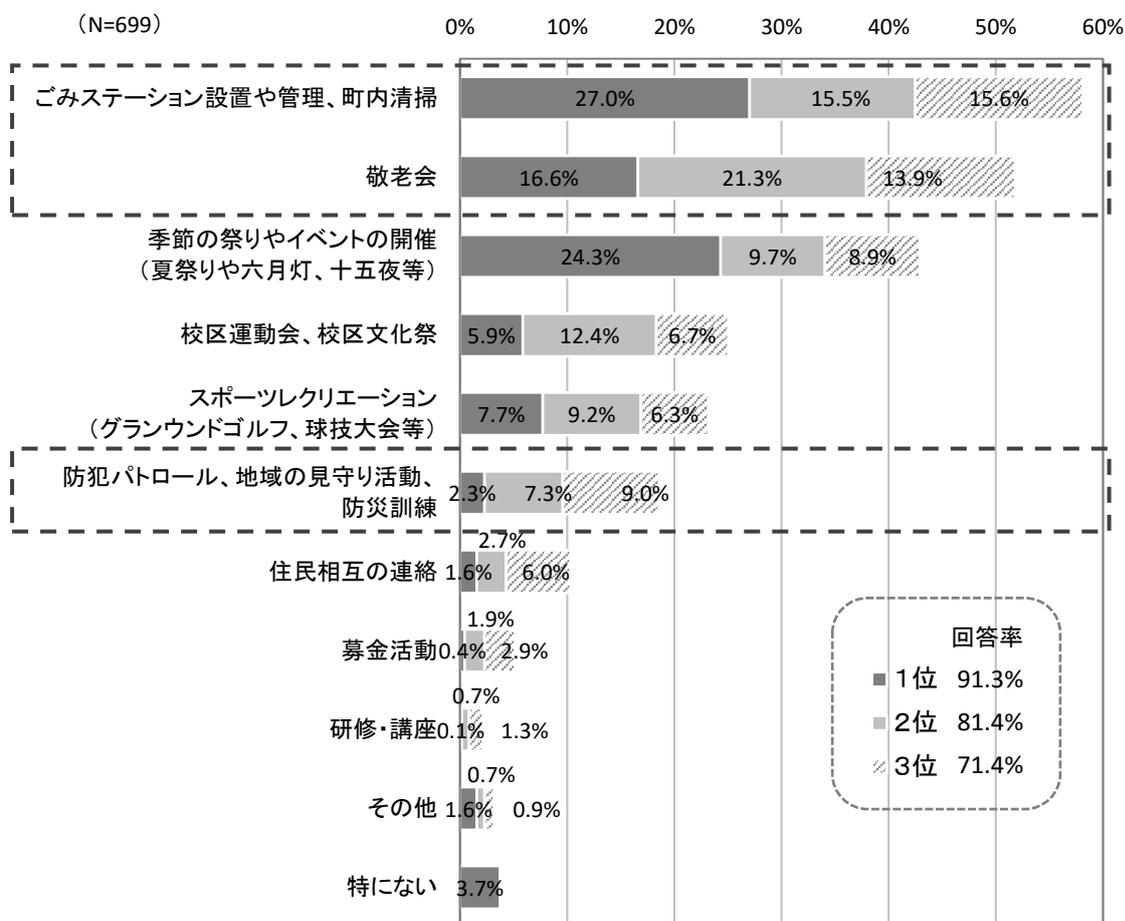
問 25 町内会などの地域活動において、自らが参加・協力したいと思うものを最大3つまで選んでください。

「ごみステーション設置や管理、町内清掃」については、町内会も積極的に取り組んでおり、市民の特に必要な活動、自らが参加・協力したい活動と一致している。

一方、「敬老会」については、町内会は積極的に取り組んでいるが、特に必要な活動、自らが参加・協力したい活動であると回答した市民の割合が低くなっている。

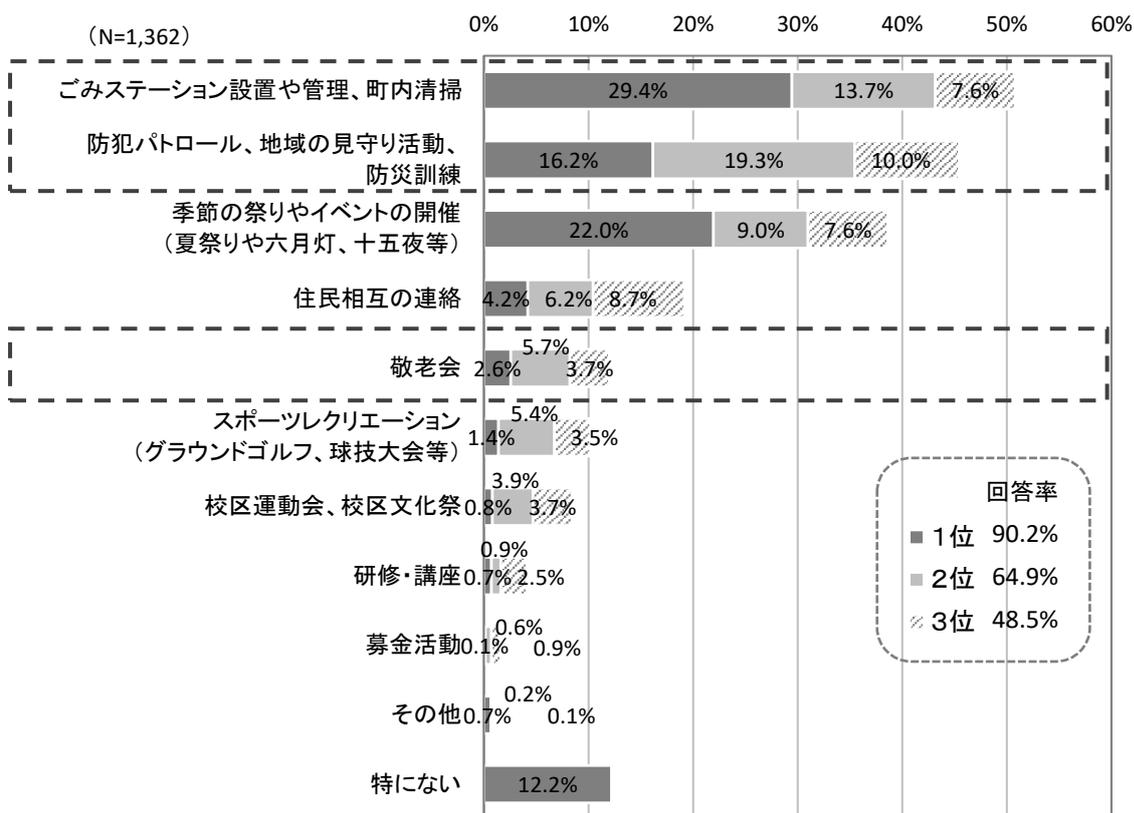
また、「防犯パトロール、地域の見守り活動、防災訓練」については、特に必要な活動、自らが参加・協力したい活動であると回答した市民の割合が高くなっているが、積極的に取り組んでいる町内会の割合は低くなっている。

(町内会実態調査) 積極的に取り組んでいる活動



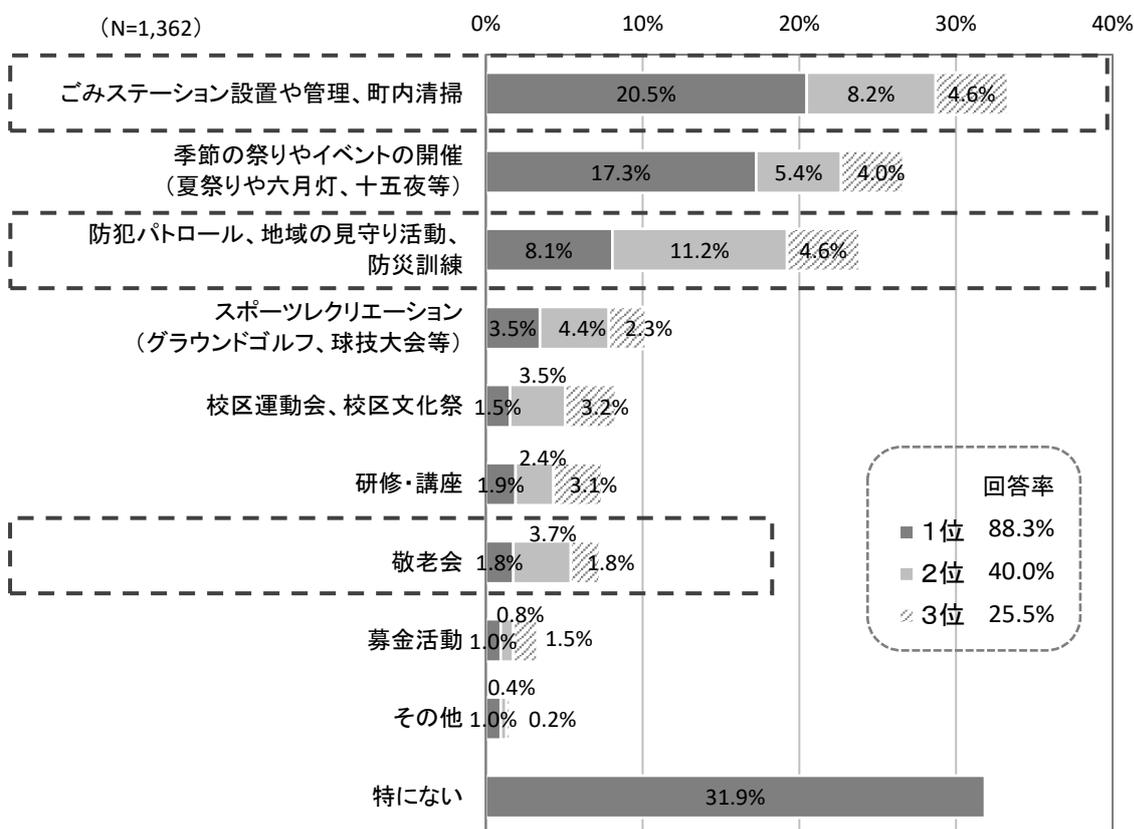
※無回答はグラフに表示していない

(町内会に関する市民意識調査) 特に必要だと思う活動



※無回答はグラフに表示していない

(町内会に関する市民意識調査) 自らが参加・協力したい活動



※無回答はグラフに表示していない